

北海道文化賞	わたらい 渡 会	じゅんすけ 純 价
<p>昭和 34 年の北海道版画協会設立に参画するなど、北海道では未開拓の分野であった銅版画を故渋谷栄一氏とともに開拓。</p> <p>高度な表現技法から生み出されるその作品は、国内の美術館はもとより、イギリス大英博物館など海外の美術館にも収蔵され、国内外で多くの人々に大きな感動を与えている。</p> <p>また、多くの版画集や著書を出版するなど、版画の普及に努めるほか、札幌銅版画研究所（現在のさっぽろ自由工房）を開設・主宰し、後進の育成に尽力するなど、北海道における銅版画家の草分け的な存在として、本道の版画文化の振興、発展に大きく貢献している。</p>		
<p>◎受賞者の主な略歴</p> <p>S30 北海道立小樽緑陵高校卒業、小野田セメント(株)入社</p> <p>S34 北海道版画協会設立に参画</p> <p>S37 全道展北海道新聞社賞受賞</p> <p>S42 全道展会員推挙</p> <p>S44 春陽展研究賞受賞、小野田セメント(株)退社</p> <p>S45 文化庁主催「第4回現代美術選抜展」出品</p> <p>S46 渡欧（パリ・フリードリッヒ工房にて研修）（～S47）</p> <p>S49 「若き現代版画展」（パリ近代美術館）出品、春陽会会員（～H10）</p> <p>S53 「日本現代版画展」（メキシコ）出品</p> <p>S58 渡欧（パリ・アトリエ 17 にて研修）（～S59）</p> <p>S60 札幌銅版画研究所（現在の「さっぽろ自由工房」）開設・主宰（～現在）</p> <p>H 元 日本版画家協会北海道支部長（～現在）</p> <p>H3 イタリア国際日本版画展（ローマ）出品</p> <p>H7 札幌市民芸術賞受賞</p> <p>H16 第 18 回全日本 DM 大賞（日本郵政公社等主催）銀賞受賞</p> <p>H20 日露友好フェスティバル（ロシア・エルミタージュ美術館）出品</p> <p>H22 紺綬褒章受章</p> <p>H24 日本美術家連盟北海道地区代表委員（～現在）</p>		